

二 学 期	9 ・ 10 ・ 11 ・ 12 月	表 現 を 工 夫 し 取 っ て 、 器 楽	器 楽： ア ル ト リ コ ー ダ ー (箏)	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	・音色・リズム・旋律・強弱・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫している。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	響 き を 味 わ い た お う ス ト ラ の な	鑑 賞： ポ レ ロ	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。	・音色・リズム・旋律・テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
三 学 期	1 ・ 2 ・ 3 月	う 情 豊 か に と も に 合 唱 し よ	仲 間 と の あ い さ わ い の あ ら わ い を 表 す	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	・旋律・形式・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
		を て 工 夫 し 取 っ て 、 器 楽	器 楽： ア ル ト リ コ ー ダ ー	・楽器の音色や響きと奏法との関りについて理解している。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。	・音色・リズム・旋律・強弱・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫している。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
		旋 律 を ま つ く の あ ら わ い	創 作： 旋 律 を つ く る う	・音階の特徴及び音のつながり方の特徴について理解している。 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。	・リズム・旋律・構成を知覚し、それぞれの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、まとまりある創作表現を創意工夫している。	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
	評価方法	テスト	テスト ワーク	ワーク 授業態度 行動観察		

学習の進め方

- ・1週間に1回の授業なので一回一回を大切に、また授業内で内容を理解することを柱に置き授業を展開します。
- ・毎時間、授業始めに欠かさず忘れ物✓から始め、曲ごとにワークを記入させ習熟度を測ります。
- ・歌唱や器楽に関しては、テスト(一人・ペア・グループ)を行い、その都度評価を伝えていきます。